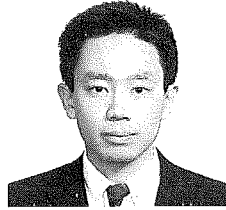


ローターアクトはいつも旬です！



RI ローターアクト実行グループ
(アジア地域)メンバー
喜志多 宏和 (宇部西RAC)

私たちローターアクトは、18歳から30歳までという限られた期間の中で活動していますが、この「期間限定」は、決して悪い面ばかりではありません。

TVで盛んにCMが流されていた冬季限定醸造ビール「冬××」が、不思議とビール党の心とのどをとらえて離さないのと同様、^{*}ローターアクトも期間限定であるからこそ、「人生の旬？」ともいえる年代に、若さにまかせて力いっぱい、悔いの残らない活動が実現できるので。

しかし、その一方で期間限定であるが故に生じる種々の問題点にも真っ正面から取り組まなければなりません。

この問題点の一つに、活動の継続性があります。具体的には、比較的短期間でクラブのメンバーの大半が、転勤や年齢退会などによって入れ代わってしまうため、継続性のある活動が展開しにくいことがあります。

この問題を解決するためには、ハード面とソフト面の両面からの取り組みが必要であります。

まず、ハード面の解決策の一例として、ロータークラブ事務局の一角に、ローターアクトの資料を保管するスペースを確保し、ローターアクトの会員に自由に利用させることが考えられます（もちろん、整理整頓および管理はローターアクトの仕事です）。

毎年交代する役員が、それぞれ個人的にクラ

ブの運営資料を保管していたのでは、長い年月の間に資料が散逸してしまい、本当に必要なときに必要な資料を入手できないからです。

次に、ソフト面の解決策の一例として、活動記録を文書（議事録）や写真で残すことが考えられます。

熱い気持ちで始めた奉仕活動の意義も、長年培ったクラブ運営のノウハウも、文書で残して初めて新しいメンバーに伝えることができるのです。

これら2つの解決策が車の両輪となってこそ、継続性のある活動が可能になると思います。

ここに私が申し述べさせていただいたことは、決して目新しいことでもなければ、画期的なアイデアでもありません。また、既に実行に移されているクラブが大半であろうとも思います。

しかし、万が一、これらのことが実行できていないとすれば、たとえ現在のローターアクトクラブの活動が順風満帆であったとしても、数年後、メンバーの大半が入れ代わってしまった時に、現在の活発な活動が継承されているかどうか一抹の不安が残ります。

まずは、私のまずい文章をネタに、「今が旬」の季節限定醸造ビールを片手に、「いつも旬」のローターアクトと一緒に、語り合う機会を設けることから始められてはいかがでしょうか。

第2710地区(広島・山口)元地区RA代表